

# 景観計画書

(上野恩賜公園周辺景観形成特別地区Bゾーン[不忍池周辺]における建築物の建築等)

当該行為における景観形成に関する考え方	
記載欄	
(1) 配置	
<input type="checkbox"/>	不忍通り沿いにオープンスペースを積極的に配置するなどゆとりの演出を図るとともに、隣接する建築物の壁面の位置などに配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	敷地内に歴史的に重要な遺構や残すべき自然などがある場合は、これを活かした建築物の配置となるよう配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	駐車場、駐輪場や設備は、通りや主要な歩行者動線から見えない位置に配置する。やむを得ず道路や主要な歩行者動線等に面する場合は、植栽や目隠しなどによって、目立たせないようにする。 記載欄
(2) 高さ・規模	
<input type="checkbox"/>	不忍池から見える建築物は、不忍通り沿いの建築物群のスカイラインとの調和を図り、著しく突出した高さの建築物は避ける。 記載欄
<input type="checkbox"/>	不忍通りの主要な交差点や不忍池からの見え方に配慮する。 記載欄
(3) 形態・意匠・色彩	
<input type="checkbox"/>	不忍通りに面する建物の低層部は、商業・業務・文化施設をできるだけ設け賑わいの演出を図るように配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	建築物に附帯する屋外設備や階段等は、高層階や上空からの視線に配慮するとともに不忍通りから見えない位置に配置する。やむを得ない場合は、建築物と一体的な意匠とするか、ルーバーや緑化などにより修景するなど、周囲から目立たない工夫を施すなど建築物本体や周辺との調和を図る。 記載欄

<input type="checkbox"/> 建築物等の色彩や素材は、次の事項に適合するとともに周辺との調和を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁の素材は、耐久性があるものを積極的に使用し、光沢があるものは控える。</li> <li>・地域で親しまれている色彩（別表参照）の活用に努める。</li> <li>・外観の色彩は、別表に定める基準に適合するものとする。</li> </ul> <b>記載欄</b>
(4) 公開空地・外構・緑化等
<input type="checkbox"/> 外構計画は、敷地内のデザインのみを捉えるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺のまち並みとの調和を図った色調や素材とする。 <b>記載欄</b>
<input type="checkbox"/> 不忍通り側に積極的に緑や花を植えることができる場所を設け緑化を図る。 <b>記載欄</b>
<input type="checkbox"/> 不忍池や道路からの視線に配慮し、出来るだけ壁面や屋上緑化を図る。 <b>記載欄</b>
<input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場の出入り口は、出来るだけ通りや主要な歩行者動線等から見えなように植栽等で修景する。 <b>記載欄</b>
<input type="checkbox"/> 周辺の環境に応じた夜間の景観を検討し周辺の景観に応じた照明を行う。 <b>記載欄</b>

上記以外で特に景観に配慮した事項